

令和6年度 郡山第一中学校だより

いまから ここから

令和7年1月31日 第11号

郡山第一中学校生徒一人一人が、夢や目標に向かって「あきらめない」との強い思いをもち、今できることに一生懸命に取り組み、十五の春に美しい花を咲かせてほしいと思っています。でも、くじけそうになったとき、あきらめそうになったとき、「いまから、ここから」と、新たな気持ちで、新たな目標をつくって始めれば、そんな願いを込めてこの題にしました。 文責 校長 新田泰尋

令和7年も、保護者の皆様のご支援・ご声援、 引き続き、よろしく願いいたします。

令和7年を迎え、早一月を過ぎました。一月は「行く」二月は「逃げる」三月は「去る」とよく言われますが、3学期はあっという間に過ぎていくという感じがいたします。

1月8日の始業式では、校長あいさつで、全校生徒に次のことを話しました。

令和6年は「一中一割」という言葉のもと、皆さん一人一人が一中の伝統である、「与えられた環境の中で、最後まであきらめず一生懸命取り組むこと」を見事実行し、大活躍してくれました。令和7年は、さらに高みを目指しましょう。

そのために、2つお話をします。

1つ目は、

これからの予測困難な時代は、学ぶだけでは世界は変わらない、ただ一生懸命やるだけではなく、第一に「知る」、第二に「自分事として気づく」、第三に「行動する」**「知る」「気づく」「行動する」**これを、勉強に、部活動などに活かして、3学期をしっかりと締めくくり、新しい学年へしっかりと準備し、4月からの新しい学年、さらに高みが見えてくるようにしましょう。

特に3年生にとっては卒業まで登校する日が残り44日です。いよいよ本格的に入試が始まります。これまで努力してきた自分を信じ、目標に向かって、今まで培った一中の伝統**「最後まであきらめず、一生懸命取り組むこと」**、そして、一人一人が自分の進路を実現させ、全員が笑顔で15の春を迎えられるよう、心から願っています。

2つ目は、

いつの時代も、社会人として当たり前のことは、「**元気な挨拶ができるか**」「**時間が守れるか**」「**学生時代に何に一生懸命取り組んできたか**」です。これは、毎日一中生が「朝のあいさつ運動、ギリギリ登校者や遅刻者調べ、積極的な生徒会活動や部活動など」に取り組んでいることと同じです。

「一中一割」のみなさんは、一中で当たり前にやっていることを、社会に出て当たり前にやっていけば、立派な社会人として、郡山をリードできると、私は信じています。「**元気な挨拶**」「**時間を守る**」「**何かに一生懸命取り組む**」、これを、この新年をきっかけに、今までできなかった人はいまからできるよう、今までできていた人は今まで以上にできるように、「一中一割」のみなさんなら「知る」「気づく」「行動する」ができますので、今すぐ行動に移せるはず。期待しています。

3月13日(木)には、223名が郡山一中を卒業します。全員が笑顔で15の春を迎えられるよう全職員一同、全力で3年生をサポートしてまいります。

また、4月7日(月)には、約200名の新入生が入学してきます。去る1月24日(金)には、新入生保護者説明会を行いました。さらに今年度は、校長が郡山一中学区の4つの小学校に出向き、6年生に郡山一中の魅力をアピールしてくる予定です。

ハンドボール部、吹奏楽部、大活躍でした。

1月にあった各種大会の結果を紹介します。

ハンドボール部・・・福島県中学校ハンドボール大会 男子優勝(全国大会出場)、女子第3位

吹奏楽部・・・福島県アンサンブルコンテスト 木管八重奏、金管八重奏、管打八重奏いずれも金賞